

アクティベーターカイロプラクティック (AMCT) による施術後の身体反応について The body's response after treatment by Activetor Chiropractic

青柳大士*1、土子勝成*2、玉田篤史*3、馬上忠昭*4

Hiroshi AOYAGI*1, Katunari TUTIKO*2, Atsushi TAMADA*3, Tadaaki MOUE*4

1. はじめに

カイロプラクティックをはじめ、世の中には様々な手技療法があるが、その施術後には身体に何らかの反応が見られる事がある。多くは不快ではない症状として表れるが、時に痛みが強くなったり、主訴とは別に新たな不快な症状が表れるなど、患者にとって短期的に不利益になる可能性があると言われている。

それらの身体反応は多くの場合、好転反応（身体が良くなる際のサイン）として患者に伝えられ、少々のは心配しないように指導される。しかし、それは施術者に都合の良い解釈であり、実際に患者がどのように捉えているかは分らない。

アクティベーターカイロプラクティック（以下 AMCT）においても、施術を受ける事での不利益はないとされ、好転反応に対する調査もあまりされていない。「そもそも好転反応はない」と考えている術者も少なからずいるようだ。しかし、本当に不利益はないのか、医療の中で使用するためには重要な問題である。今回、大学病院内でアクティベーターカイロプラクティックを行うための前調査として、施術を受けた際の身体反応についてアンケートに答えてもらい、実際に患者にどの程度身体反応が見られるのかを調査した。

2. 方法

2.1 施術者

筆者を含め、アクティベーターネットワークジャパン公認治療師 4 名がそれぞれのオフィスにおいて調査を行った。アンケート用紙を用意し、期間中来院された方への協力を依頼した。術者の開業歴は 2~6 年、セミナー受講回数は 5~10 回で、指導者クラスはおらず中堅とされるレベルであった。

2.2 被験者

対象は平成 21 年 5 月 1 日~14 日の間にそれぞれのオフィスに来院され同意の得られた全てのクライアント。

総数 130 名であった。アンケートは 1 人 1 回限りとした。主に初診後の評価のため、通院歴があまりにも古く、殆ど記憶がないと答えた場合には除外した。

2.3 アンケート

質問項目は 3 点。

- ①初めて AMCT を受けた後、不快な症状があったかどうか。
 - ②初めて受けた後、何らかの反応があったかどうか。
 - ③繰り返して受けた後、毎回何らかの反応があるかどうか。
- それぞれ「はい」「いいえ」の選択式とし、「はい」と答えた方のみ、どのような反応だったのかを自由に記述してもらった。

3. 結果

3.1 「はい」と答えた人数

- ① : 5 名 (4%) ② : 35 名 (27%) ③ : 12 名 (9%)

3.2 内容詳細（原文まま）

① :

- ・当日、少し頭痛がした。次の日はなんでもなかった。
- ・身体がだるい、重い。
- ・ハンドバックを持つ腕がしびれた。当日中に取れた。
- ・患部ではない箇所の痛み。
- ・3 回目まで痛みが変わらなかった。

② : 類似項はまとめた。複数回答あり。

- ・少しだるかった。 : 13 名
- ・眠くなった。 : 10 名
- ・左腰が痛くなったが、翌日は良くなった。
- ・翌朝重だるかった。
- ・痛みの質が変わった。少し痛みが和らいだ。
- ・身体が緩んだ感じがあった。
- ・当日夜に痛みがぶり返した。

以下削除項目（ポジティブメッセージ）

- ・リラックスした。
 - ・姿勢がまっすぐになった。
 - ・便通が良くなった。
 - ・痛みが楽になった。 : 2 名
 - ・よく眠れた : 2 名
 - ・楽になった。 4 名
- ③ : 身体が軽くなる、体調が良くなる、痛みが取れるなど良くなった事を強調する記述のみで、ネガティブなものは無かった。

4. 考察

①で初回 AMCT 後の身体反応を不快だったと感じたのは 130 例中 5 例（全体の約 4%）であった。一時不快に感じても、当日、翌日には改善しているものが 2 例、不可逆だと思われるものはなかった。②で不快ではないが症状があったと答えた患者のうち「だるい」「眠い」「重い」など一般的にネガティブと捉えられる回答は 28 名（約 21%）であった。①+②（ネガティブ）は 33 名で、全体の約 25%であった。③は改善を示唆する記述のみで評価する必要は無かった。

5. 結果

今回の調査では AMCT を受けた事で、数日続くようなひどく不快な身体反応が起きたと解釈できる結果はなかった。よって、AMCT を受ける事による患者の不利益はないと言える。

ただし、約 4%の方には不快だと感じる反応があり、それを含めて約 25%の方に一般的にネガティブと捉えられる反応が出る可能性がある。術者にはしっかりと術後の患者説明が求められる。

6. 課題

今回調査した患者は、それぞれの治療院に既に数回来院されて術者と信頼関係が構築されている方が多い。患者は症状が良くなったり、何らかの利点があるから来院されているのであって、元々マイナス要素を持っている可能性が低い。より公平な調査をするのであれば、完全な初診のケースで追跡調査を行う必要があると考える。

*1 青柳カイロプラクティックセンター 院長

<http://luckychiro.com/>

*2 Tsuchiko カイロプラクティックオフィス 院長

<http://www.tsuchiko-chiro.com/>

*3 うみかぜカイロプラクティック 院長

<http://www.umikaze-chiro.com/>

*4 HANDS-ON カイロプラクティックセンター 院長

<http://hands-on.main.jp/>

《連絡先》青柳大士

〒231-0025

神奈川県横浜市中区松影町 2-7-21 社会文化会館 2F

電話/FAX : 045-662-8716

E-mail : hyagi7@yahoo.co.jp